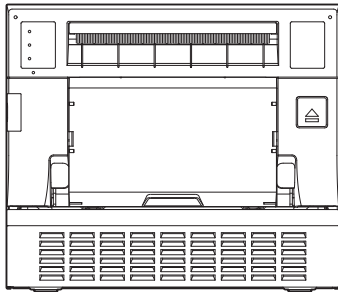


三菱デジタルカラープリンター

形名

CP-D90D

取扱説明書



DIGITAL COLOR PRINTER

このたびは三菱デジタルカラープリンターをお買い上げいただきありがとうございました。

- ・ ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
- ・ 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、販売店からお受け取りください。
- ・ 「取扱説明書」と「保証書」は大切に保管してください。
- ・ この製品は、日本国内用に設計されていますので、国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。

This appliance is designed for use in Japan only and the contents in this document cannot be applied in any other country. No servicing is available outside of Japan.

特長

目的に応じて5種類の印画サイズに対応

L判(89 mm×127 mm)、KG判(102 mm×152 mm)、2L判(127 mm×178 mm)、A5判(152 mm×203 mm)、A5ワイド判(152 mm×229 mm)の5種類の印画サイズが選べます。

300dpiの高解像度

画像データを鮮明に再現する300dpiの高解像度を実現。緻密なイラストレーションや写真画像も驚くほどシャープに美しくプリントします。

大容量プリント

1ロールあたりのプリント枚数はL判で450枚ですので、ペーパー、インクリボンの交換頻度が大幅に減り、非常に効率的です。

高画質プリントを実現

画像の再現性に優れた昇華染料熱転写方式でYMC各色256階調のフルカラー高精細プリントが可能です。

高速プリント

Hi-Speed USB (Ver.2.0) インターフェイス対応

本機について



静電気放電 (ESD) : 静電気による障害 (機器故障など) の可能性があるので注意してください。



交流 : 電源電圧は交流です。



OFF/ON : 電源の切り離し / 接続を表します。

この装置は、クラスA 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

「JIS C 61000-3-2 適合品」

JIS C 61000-3-2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立性—第3-2部：限度値—高調波電流発生限度値（1相当あたりの入力電流が20A以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

本機を使用中に万一発生した故障等の不具合によりプリントされなかった内容の補償については、ご容赦願います。

著作権について

ご自身が制作、撮影した映像以外からのプリントは、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。

安全

各部のなまえ

開梱

準備

使いかた

お手入れ

故障かな？

その他

もくじ

特長	2
本機について	2
もくじ	3
安全のために必ず守ること	4
各部のなまえとはたらき	8
前面	8
側面・後面	9
付属品	10
開梱	11
使用前の準備	11
使用前の準備の流れ	11
設置する	12
電源コードを接続する	12
プリント用紙（別売品）を入れる	14
インクリボン（別売品）を入れる	17
ペーパートレー（付属品）を取り付ける / 取り外す	19
プリンタードライバーをインストールする	20
パーソナルコンピューターなどを USB 接続する	20
使いかた	21
本機の取り扱いについて	21
電源の入 / 切	22
切りくずを捨てるときは	23
プリント用紙 / インクリボンの取り扱いについて	24
プリント用紙 / インクリボンを交換するときは	24
お手入れ	25
本機のお手入れ	25
本機内部のクリーニング	25
消耗部品について	28
故障かな？と思ったら	29
前面インジケータの表示と処置	29
修理を依頼する前に	30
紙づまりの処置	31
インクリボンが切れたときの処置	33
保証とアフターサービス	34
本機を移動・輸送するときは	35
本機を移動するとき	35
本機を輸送するとき	35
別売品	35
仕様	36

安全のために必ず守ること

■ 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。



 警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの	 注意	誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつくもの
---	-----------------------------------	---	-------------------------------------

■ 図記号の意味は次のとおりです。








	絶対に行わない		絶対に水にぬらさない		手はさみ注意
	絶対に分解・修理はしない		必ず指示に従って行う		高温注意
	絶対に触れない		必ず電源プラグをコンセントから抜く		感電注意
	絶対にぬれた手で触れない		必ずアース線を取り付ける		

警告

設置・移動

 禁止	不安定な場所に置かない (ぐらついたり変形した台の上や傾いた場所など) 落ちたり倒れたりして、けがの原因になります。	 電源プラグがすぐ抜ける場所	電源プラグをコンセントからすぐに抜くことができる場所に設置する 異常発生時、電源プラグをコンセントからすぐに抜くことができないと、火災の原因になります。
---	---	--	--

取り扱い

 使用禁止	故障や煙が出ているとき、変な音や臭いがするときは使わない 火災・感電の原因になります。 すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認してから、販売店に修理をご依頼ください。	 分解禁止	分解や改造をしない 内部には電圧の高い部分があり、触ると感電の原因になります。 また、けが・火災の原因になります。
 感電注意		 感電注意	内部の点検・調整・修理は、販売店にご依頼ください。
 使用禁止	本機を落としたり、キャビネットを破損した場合は使わない 火災・感電の原因になります。	 禁止	異物を入れない (特にお子様にご注意を) 小さな金属物などを本機の上に置かない 用紙排出口や通風孔から金属類や燃えやすいものなどが入ると、火災や感電の原因になります。 万一入った場合は、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご相談ください。
 禁止	本機の上に重いものを置いたり、本機の上にのらない (特にお子様にご注意を) バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因になります。		

安全
各部のなまえ
開梱
準備
使いかた
お手入れ
故障かな？
その他
もくじ

警告

取り扱い



水ぬれ
禁止

水でぬらさない

(特に雨天時の使用などにご注意を)

水の入った物、花瓶やコップ、植木鉢などを本機の上に置かない

内部に水が入ると、火災や感電の原因になります。

万一入った場合は、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご相談ください。



禁止

ねじなど小さな付属品は幼児の手の届くところに置かない

飲み込むと窒息死する原因になります。

万一飲み込んだ場合は、医師に相談してください。



接触禁止

雷が鳴り出したら本体および電源プラグには触れない

感電の原因になります。



プラグを
抜く

万一異常が発生したときは、電源プラグをすぐ抜く!!

異常のまま使用すると、火災・感電の原因になります。

すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に修理をご依頼ください。

電源・電源コード



傷つけ
禁止

電源コードを傷つけない

- 重いものを載せない
- 引っ張らない
- ねじらない
- 束ねない
- 無理に曲げない
- 加熱しない
- 加工しない

コードが破損し、火災・感電の原因になります。

電源コードの芯線が露出したり断線するなど、コードが傷んだときは、すぐに販売店に修理をご依頼ください。



付属の
電源コード

付属品の電源コードを使用する

付属品以外の電源コードを使うと、火災の原因となります。

付属品の電源コードは、本機専用です。決して他の製品に使用しないでください。



確実に
接地する

確実に接地する

火災・感電の原因になります。

万一の感電防止のため、アース線は必ずアース専用端子(アース付きコンセント)に接続してください。

ガス管・水道管・避雷針などへは、絶対に取り付けしないでください。

アース専用端子がない場合には、お買上げの販売店にご相談ください。(アース工事は有料で、第二種電気工事士の有資格者が工事をするよう法令で定められています。)



ぬれ手
禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因になります。



禁止

配線器具の定格電流を超えない
たこ足配線をしな

配線器具の定格電流を超えて使用すると、火災・感電の原因になります。



交流 100V

正しい電源電圧(交流 100V)で使う

交流 100V以外の電圧で使用すると、火災・感電の原因になります。



漏電ブレーカー
付きコンセント

電源コードは、必ず漏電ブレーカーを備えたコンセントにつなぐ

漏電すると、火災・感電の原因になります。

安全

各部のなまえ

開梱

準備

使いかた

お手入れ

故障かな?

その他

もくじ

⚠ 注意

設置・移動



設置禁止

設置時は、次のような場所には置かない

- 湿気やほこりの多い場所
- 直射日光の当たる場所
- 閉めきった自動車内など、高温になる場所
- 自動車内など、振動が多いところ
- 温泉地など、硫化水素などのガスが発生する場所
- 油煙や湯気が当たる場所
- 熱器具の近く
- 製氷倉庫など、低温になる場所
- 海岸近くなど、塩分の多いところ

ショートや発熱、電源コードの被膜が溶けるなどにより、火災・感電の原因になります。
(キャビネットが変色・変形を起こす原因になることもあります。)



禁止

通風孔をふさがない

- 風通しの悪い狭い場所に置かない
- テーブルクロスなどをかけない

内部に熱がこもり、火災の原因になります。



禁止

接続したまま本機を移動しない

電源コードが傷ついて火災・感電の原因になります。

また、つまずいてけがの原因になります。

電源コードや接続ケーブルを外したことを確認してから、移動してください。



禁止

マージンカットボックスの下に手を入れて本機を運ばない

マージンカットボックスが外れて本機が落下し、けがの原因になります。



転倒防止の処置をする

転倒防止の処置をする

衝撃などで本機が転倒し、けがの原因になります。

取り扱い



禁止

プリント用紙排出口に手を入れない
(特にお子様にご注意を)

プリント出口内部には用紙を切断するためのカッターがありますので、手を切るなどのけがの原因になります。



接触禁止

紙づまりの処置の際は、取扱説明書で指定している場所以外には触れない

内部には高温の部分があり、触れるとやけどの原因になります。



高温注意



禁止

プリンティングユニットを開けたままにしない

ぶつかって、けがの原因になります。



禁止

ペーパーフランジをプリント用紙に取り付けるときは、手や指をはさまない

けがの原因になります。



手はさみ注意



禁止

プリンティングユニットやドアを上から押さえつけない

バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因になります。



接触禁止

プリント直後は、本機内部のサーマルヘッドには触れない

サーマルヘッドは、サーマルヘッドのクリーニング時以外は触れない



高温注意

高温になっている場合があり、触れるとやけど・けがの原因になります。

(静電気による障害や機器故障などの原因になることもあります。)



確実に閉める



手はさみ注意

プリンティングユニットは、確実に押し込んで閉じる

プリンティングユニットが確実に閉じていないと、本機を動かしたときにプリンティングユニットが開き、けがの原因になります。

プリンティングユニットを閉じるときは、手をはさまないようにしてください。

安全

各部のなまえ

開梱

準備

使いかた

お手入れ

故障かな?

その他

もくじ

⚠ 注意

取り扱い



ドアを開閉するときは、マージンカットボックスを外す

本体から
外す

本体からマージンカットボックスが脱落し、けがの原因になります。



プリント用紙を置くときは立てて置く

立てて置く

机上などに横向きに置くと転がって落下し、けがの原因になります。



日本国内専用です

火災・感電の原因になります。

国内専用

この製品は、日本国内用に設計されていますので、国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。

This appliance is designed for use in Japan only and the contents in this document cannot be applied in any other country. No servicing is available outside of Japan.

電源・電源コード



電源プラグを持って抜く

プラグを
持つ

電源コードを引っ張ると傷がつき、火災・感電の原因になります。



電源プラグは根元まで差し込む

根元まで
差し込む

差し込みが不完全な場合、火災・感電の原因になります。

お手入れ・保管



お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行う

プラグを
抜く

感電の原因になります。



長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いておく

プラグを
抜く

火災の原因になります。



5年に一度は、内部の掃除を販売店に依頼する

内部掃除

内部にほこりがたまったまま使うと、火災の原因になります。

特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うのが効果的です。

内部掃除費用については、販売店にご相談ください。

安全

各部のなまえ

開梱

準備

使いかた

お手入れ

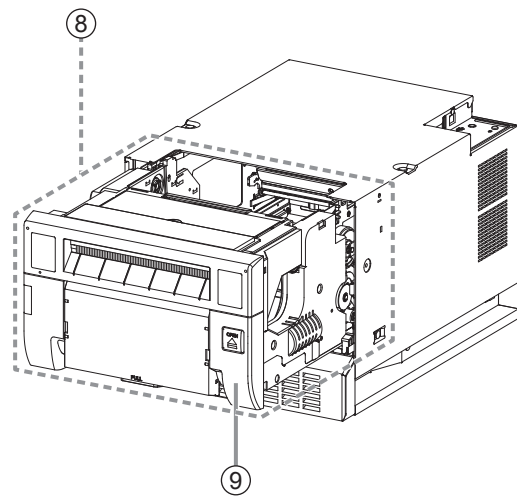
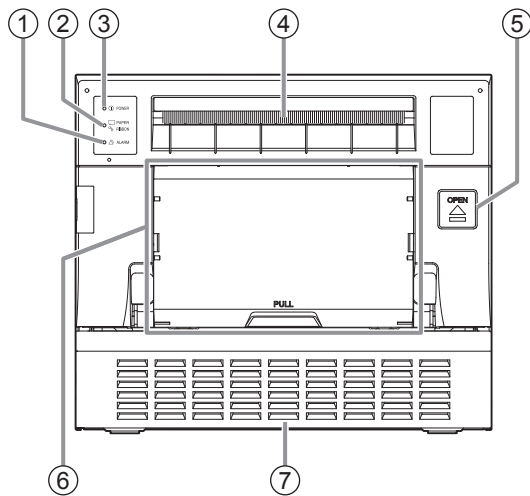
故障かな？

その他

もくじ

各部のなまえとはたらき

前面



① アラーム ALARM インジケータ (△)

紙づまり、マージンカットボックスが外れているとき、ドアが開いているときなどに点灯または点滅します。(P.29)

② ペーパーリボン PAPER RIBBON インジケータ (□/%)

インクリボンとプリント用紙に関するエラーが起こったとき点灯または点滅します。(P.29)

③ パワー POWER インジケータ (⓪)

電源が入ると、点灯します。通常はグリーンに点灯しますが、プリンターの状態によって点滅またはオレンジに点灯します。(P.29)

④ プリント出口

プリントされた用紙の出口です。

⑤ OPEN ボタン (△)

このボタンを押してプリンティングユニットを引き出します。

⑥ マージンカットボックス

マージンカット時に生じる切りくずを内部にためます。プリント出口につまるのを防ぐために、こまめにくずを捨ててください。

お願い

- ドアを開けるときは、先にマージンカットボックスを取り外してください。取り外さないと、プリンター本体およびマージンカットボックスの破損の原因となります。また、プリント出口内部にマージンカット時の切りくずがつまる原因となります。
- プリント中はマージンカットボックスを取り外さないでください。動作不良の原因となります。

⑦ 吸気口

本機内部を冷却するための吸気口です。

⑧ プリンティングユニット

プリント用紙やインクリボンを入れるときに開けます。OPEN ボタン (⑤) を押すと、開きます。

⑨ ドア

プリント用紙を入れるときに開けます。

安全

各部のなまえ

開梱

準備

使いかた

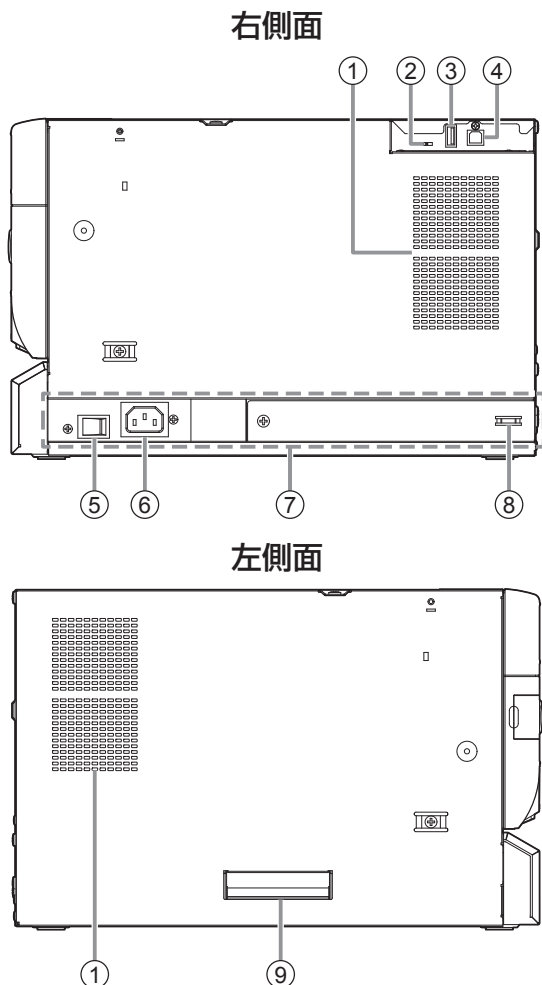
お手入れ

故障かな?

その他

もくじ

側面・後面



後面

- ① **吸気口**
本機内部を冷却するための吸気口です。
- ② **DC OUT スイッチ**
ディーシーアウト
スイッチをONにすると、DC OUT 端子 (③または⑪) から電源が供給されます。スイッチをONにしていると、本機はパワーセーブ状態になりません。
- ③ **DC OUT 端子 (5V 2.0A (MAX)、USB Aタイプ)**
ディーシーアウト
小型の周辺機器に電源を供給するための端子です。DC OUT 端子 (12V 2.0A (MAX)) (⑪) の使用中は、電源供給されません。この端子には、DC 5V 電源供給以外の機能はありません。本機専用の周辺機器以外は、接続しないでください。
- ④ **USB 端子**
ユーエスピー
USBケーブルを接続します。(※ 20 ページ)
- ⑤ **POWER スイッチ**
パワー
電源のON/OFFに使用します。OFFにしたあと再びONにする場合は、5秒程度時間を空けてください。
- ⑥ **AC LINE ソケット**
エーシーライン
電源コード (付属品) を接続するソケットです。確実に接続してください。(※ 12 ページ)
- ⑦ **本機運搬用凹部**
本機を持ち運ぶときは、この凹部と左側面の取っ手 (⑨) を持ってください。
- ⑧ **結束バンド取り付け部**
結束バンド (付属品) を使って電源コードやUSBケーブルを固定するときに使います。
- ⑨ **本機運搬用取っ手**
本機を持ち運ぶときは、この取っ手と右側面の凹部 (⑦) を持ってください。
- ⑩ **排気口**
本機内部を冷却するための排気口です。
- ⑪ **DC OUT 端子 (12V 2.0A (MAX))**
ディーシーアウト
周辺機器に電源を供給するための端子です。DC OUT 端子 (5V 2.0A (MAX)、USB Aタイプ) (③) に優先します。(この端子を使用中は、DC OUT 端子 (5V 2.0A (MAX)、USB Aタイプ) (③) からは電源供給されません。) 本機専用の周辺機器以外は、接続しないでください。

安全

各部のなまえ

開梱

準備

使いかた

お手入れ

故障かな?

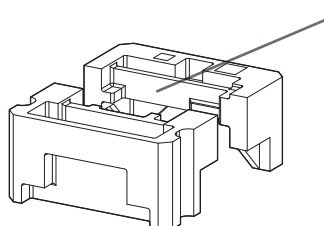
その他

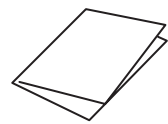

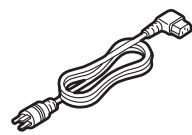
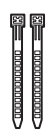
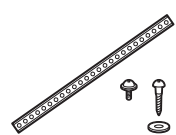
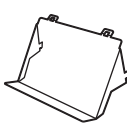
もくじ

各部のなまえとはたらき

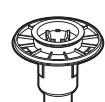
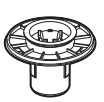

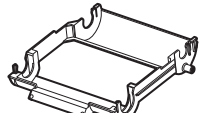
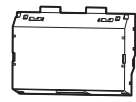
付属品

付属品は、クッションの上部に入っています。万一足りない部品がある場合は、販売店にご連絡ください。



			
クイックセット アップ(1)	CD-ROM(1)	電源コード(1)	結束バンド(2)
			
固定バンド(1)・ ネジ(1)・木ネジ(1)・ ワッシャー(1)	ペーパートレイ (1)		

工場出荷時、本機内部に
収納

				
ペーパーフランジ (2)	スペーサー(2)	インクカセット (1)	マージンカット ボックス(1)	

お願い

- 初回のご使用時は、ペーパーフランジ、インクカセットの保護シートを取り除いてください。

安全

各部のなまえ

開梱

準備

使いかた

お手入れ

故障かな？

その他

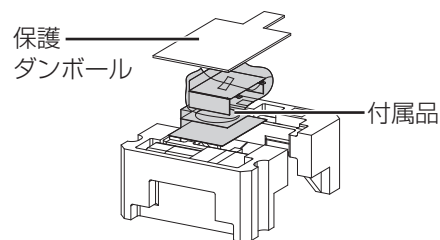
もくじ

開梱

本機は、下記の手順で箱から取り出してください。付属品がそろっているか、あわせて確認してください。

1 箱を開け、梱包材と付属品を取り出す

保護ダンボールを取り除き、付属品を取り出します。



2 付属品がそろっているか確認する

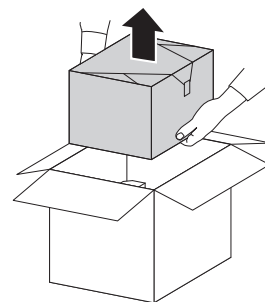
付属品の内容については、「[付属品](#)」([P.10ページ](#))をご覧ください。

3 本機を取り出す

図のように、まっすぐ上に引き上げてください。

お願い

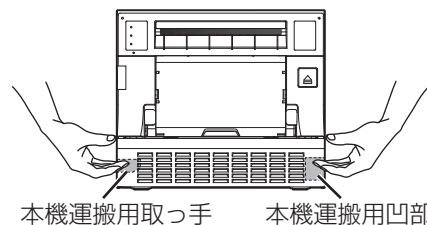
- 本機の質量は、約14kgありますので、取り扱いには気を付けてください。



4 包装を取り除く

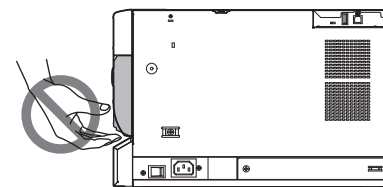
輸送用の保護テープ等を取り除いてください。

プリンターを移動させるときは、図のように、左側面の本機運搬用取っ手と右側面の本機運搬用凹部を持ってください。



本機運搬用取っ手 本機運搬用凹部

	注意		禁止	マージンカットボックスの下に手を入れて本機を運ばない マージンカットボックスが外れて本機が落下し、けがの原因になります。
--	-----------	--	-----------	---



- プリンティングユニットが確実に閉じていなかったり、誤ってOPENボタンに触れた場合、プリンティングユニットが飛び出して、けがや故障の原因になります。

使用前の準備

使用前の準備の流れ

設置する	(P.12ページ)
電源コードを接続する	(P.12ページ)
プリント用紙(別売品)を入れる	(P.14ページ)
インクリボン(別売品)を入れる	(P.17ページ)
ペーパートレイ(付属品)を取り付ける/取り外す	(P.19ページ)
プリンタードライバーをインストールする	(P.20ページ)
パーソナルコンピューターなどをUSB接続する	(P.20ページ)

安全

各部のなまえ

開梱

準備

使いかた

お手入れ

故障かな?

その他

もくじ

設置する

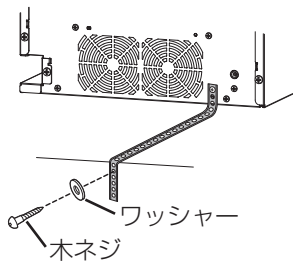
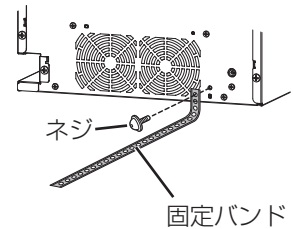


「安全のために必ず守ること」の「設置・移動」(4、6ページ)の内容も、よくお読みください。

- 本機は、水平な場所に置いてください。傾いた状態や不安定な場所で使用すると、本機に悪い影響を与えます。
- 輸送時の保護のため、多くの箇所に保護シートを貼り付けています。ご使用前に、保護シートを取り除いてからご使用ください。

本機を設置場所に固定する(転倒防止)

- 1 ネジ(付属品)で、固定バンド(付属品)の片側を本機に固定する
- 2 木ネジ・ワッシャー(付属品)で、固定バンドのもう片側を設置場所に固定する



電源コードを接続する



付属品の電源コードを使用する

付属品以外の電源コードを使うと、火災の原因となります。

付属の電源コード

付属品の電源コードは、本機専用です。決して他の製品に使用しないでください。



「安全のために必ず守ること」の「電源・電源コード」(5、7ページ)の内容も、よくお読みください。

安全

各部のなまえ

開梱

準備

使いかた

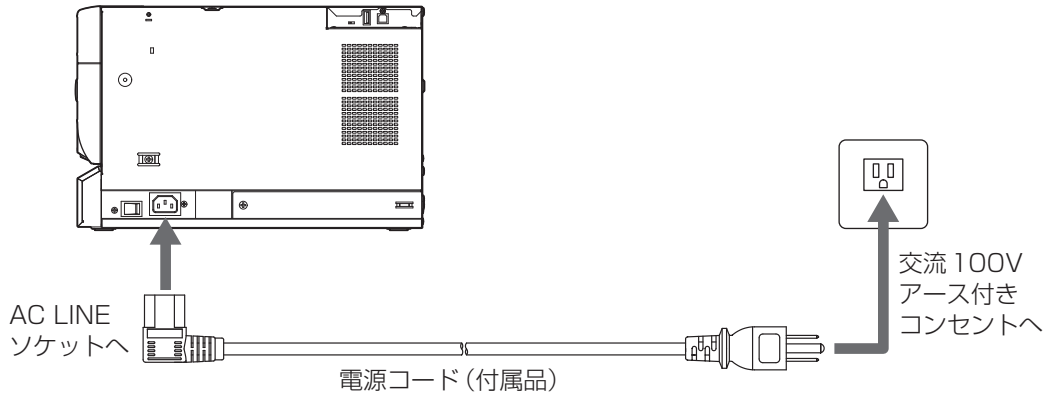
お手入れ

故障かな?

その他

もくじ

使用前の準備



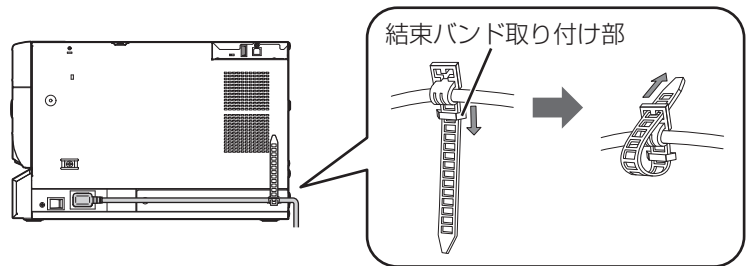
- 3ピン→2ピン変換アダプターを使用する場合は、万一の感電防止のため、アース線は必ずアース付きコンセントのアース専用端子に接続してください。ガス管・水道管・避雷針などへは、絶対に取り付けしないでください。アース線の接続は、必ず電源プラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。また、アース線の接続を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いたあとに行ってください。
- アース付きコンセントがない場合には、お買上げの販売店にご相談ください。(アース工事は有料で、第二種電気工事士の有資格者が工事をするよう法令で定められています。)
- 電源コードは、必ず漏電ブレーカーを備えたコンセントにつないでください。

電源コードを本機に固定する

- 1 電源コードに結束バンド(付属品)を巻き付ける



- 2 結束バンドを本機右側面の結束バンド取り付け部に通し、固定する



安全

各部のなまえ

開梱

準備

使いかた

お手入れ

故障かな?

その他

もくじ

プリント用紙 (別売品) を入れる

※ プリント用紙を交換する場合は、先に以下を行ってください。

- ①「プリント用紙を装着する」(P.15 ページ) の手順[2]~[4]を行う
- ② 使用済みのプリント用紙を取り出す
- ③「プリント用紙にペーパーフランジ (およびスペーサー) (付属品) を取り付ける」(下記) の手順[1]、[2]を参照してプリント用紙からペーパーフランジ (およびスペーサー) を取り外す

プリント用紙にペーパーフランジ (およびスペーサー) (付属品) を取り付ける

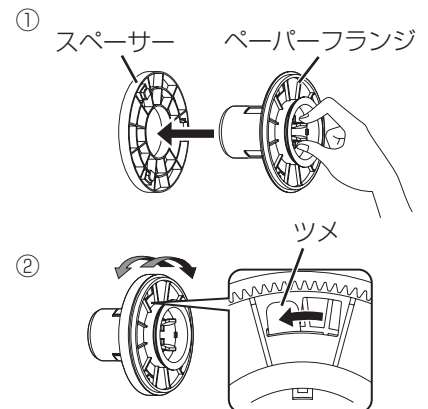
プリント用紙は、ペーパーフランジ (およびスペーサー) (付属品) を取り付けて本機に装着してください。ペーパーフランジ (およびスペーサー) は、工場出荷時は本機内部に収納されています。

[1] 必要に応じて、スペーサーをペーパーフランジに取り付ける

※ スペーサーの可否については、「クイックセットアップ」をご覧ください。

- ① ペーパーフランジのつまみをつまんだ状態でスペーサーに挿入する
- ② ペーパーフランジとスペーサーをツメがロックするまで回す

スペーサーを取り外すときは上記と逆の手順で取り外してください。

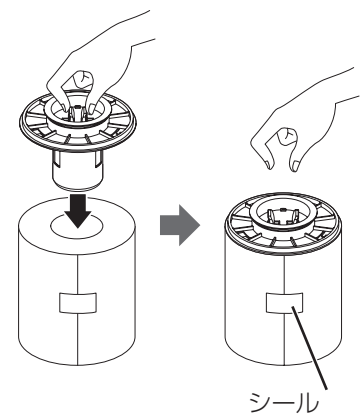


[2] ペーパーフランジをプリント用紙の両側に取り付ける

ペーパーフランジのつまみを指で強くつまむと、フランジ軸部のストッパーが軸内に納まります。その状態でフランジをプリント用紙に取り付けます。

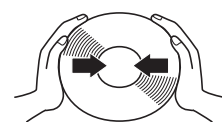
すき間がないように確実に取り付けられたことを確認してから、指を離します。

ペーパーフランジを取り外すときは上記と逆の手順で取り外してください。



お願い

- ここでは、まだプリント用紙のシールは取らないでください。
- プリント用紙をたるませないでください。たるませたままプリントすると、プリント不良の原因になります。
- プリント用紙やインクリボンの表面を、指紋やほこりなどで汚さないでください。プリント画質の劣化や紙づまりの原因になります。
- プリント用紙の変形によりペーパーフランジを取り付けられない場合、プリント用紙を手で形を整えてからペーパーフランジを取り付けてください。



注意



禁止



手はさみ
注意

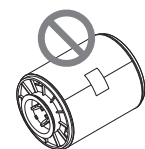
ペーパーフランジをプリント用紙に取り付けるときは、手や指をはさまないようにする
けがの原因になります。



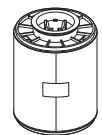
立てて置く

プリント用紙を置くときは立てて置く

机上などに横向きに置くと転がって落下し、けがの原因になります。



横向きに置く



立てて置く

安全

各部のなまえ

開梱

準備

使いかた

お手入れ

故障かな?

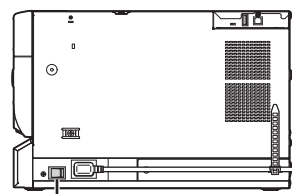
その他

もくじ

使用前の準備

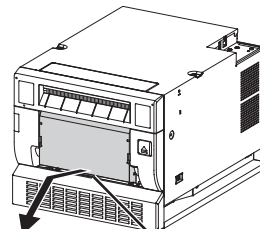
プリント用紙を装着する

- 1 右側面のPOWERスイッチを押して、本機の電源を入れる
前面のPOWERインジケータがオレンジ点灯からグリーン点灯に変わるまでお待ちください。



POWERスイッチ

- 2 マージンカットボックスを取り外す
マージンカットボックス底部の取っ手を手前に引き、下方向に外します。



取っ手

- 3 OPEN ボタンを押し、プリンティングユニットを引き出す



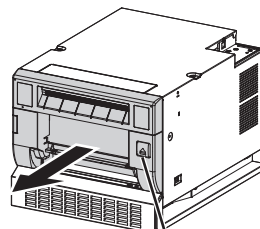
注意



禁止

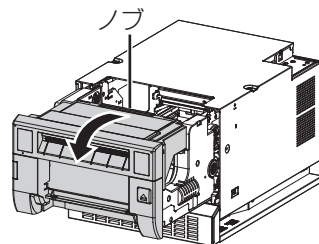
プリンティングユニットやドアを上から押さえつけない

バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因になります。



OPEN ボタン

- 4 ノブを引いてドアを開ける

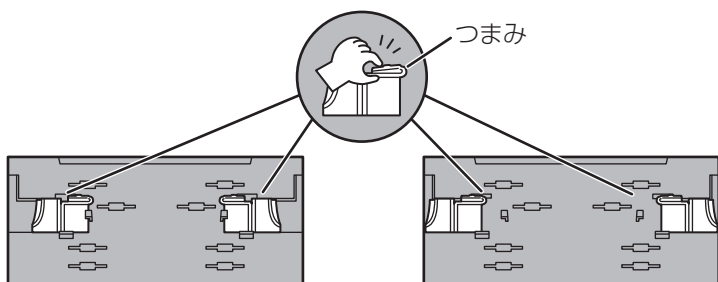


ノブ

- 5 使用するプリント用紙のサイズに合わせて、可動ペーパーガイドの位置を調整する

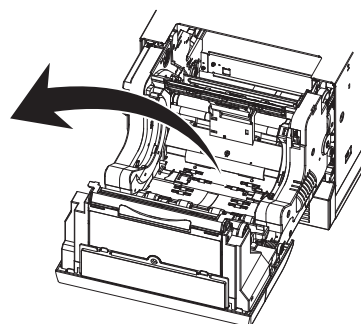
可動ペーパーガイドのつまみをつまんで左右にスライドさせ、調整します。

可動ペーパーガイド



L判、2L判サイズ
(127mm幅)の場合

KG判、A5判、A5ワイド判
サイズ(152mm幅)の場合



お知らせ

- 可動ペーパーガイドの位置が用紙のサイズと合っていない場合、紙づまりや印画ズレ等の不具合が発生することがあります。
- L判、2L判(127mm幅)の用紙を長期間使用したあと、あるいは大量に印刷したあとに、KG判、A5判、A5ワイド判(152mm幅)のプリント用紙をご使用になると、サーマルヘッドのクリーニングが必要になる場合があります。クリーニングについては、「[本機内部のクリーニング](#)」(☞ 25 ページ)をご覧ください。
また、クリーニングを行ってもプリント画質が改善されない場合があります。サーマルヘッドの交換が必要となりますので、くわしくは販売店にご相談ください。

安全

各部のなまえ

開梱

準備

使いかた

お手入れ

故障かな?

その他

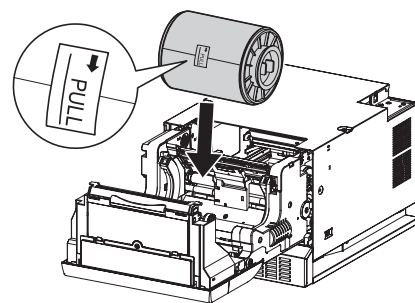
もくじ

使用前の準備

5 ペーパーフランジを取り付けたプリント用紙を、本機に取り付ける

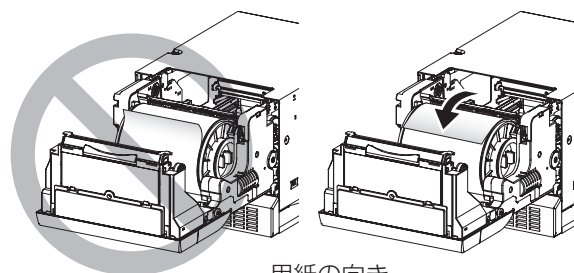
プリント用紙を正しい向きに入れてください。

プリント用紙が下までしっかりと入っていることを確認してください。



お願い

- プリント用紙は、ゆっくりと取り付けてください。溝の上端から落としたりすると、本機や付属品が破損する場合があります。



用紙の向き

6 プリント用紙のシールを剥がし、図のようにプリント用紙をローラーとガイドの間に挿入して送り、ブザーが鳴ったところで止める

シールは、必ずプリント用紙をローラーとガイドの間に通す前に剥がしてください。

プリント用紙が斜めにならないように挿入してください。

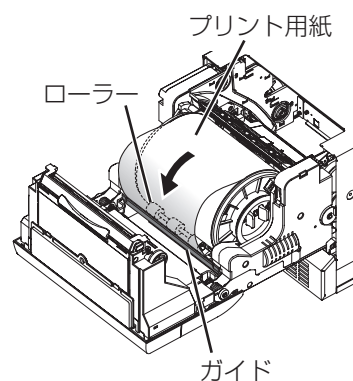
ブザーはプリンティングユニットを閉じるまで鳴り続けます。

お願い

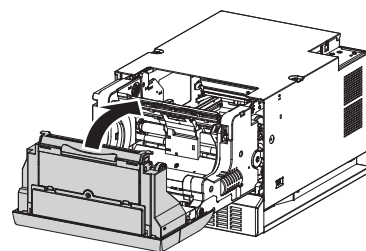
- ローラーを汚さないように気を付けてください。ローラーが汚れていると、プリント不良の原因になります。
- プリント用紙を取り外すときは、ペーパーフランジを手前に引きながら持ち上げてください。
- 必ず電源を入れた状態でプリント用紙を入れてください。
- たるんだプリント用紙は、よく巻き取ってください。たるんだままでスライドドアを閉じると、プリント用紙が破損する場合があります。

お知らせ

- ブザーが鳴った後もプリント用紙を止めずに奥まで送り続けると、紙づまりの原因になります。



7 ドアを閉じる



安全

各部のなまえ

開梱

準備

使いかた

お手入れ

故障かな？

その他

もくじ


インクリボン (別売品) を入れる




インクリボンは、インクカセット (付属品) に組み込んで、本機に装着してください。
 インクカセットは、工場出荷時は本機内部に収納されています。

お願い

- インクカセットを平らなところに置いて、インクリボンを組み込んでください。
- インクリボンは、ほこりのない場所で組み込んでください。インクリボンにほこりやゴミが付着すると、プリント不良の原因になります。
- インクカセットの取り出し時や挿入時は、本機内部のサーマルヘッドに触れないでください。サーマルヘッドにゴミや指紋が付くと、プリント不良の原因になります。

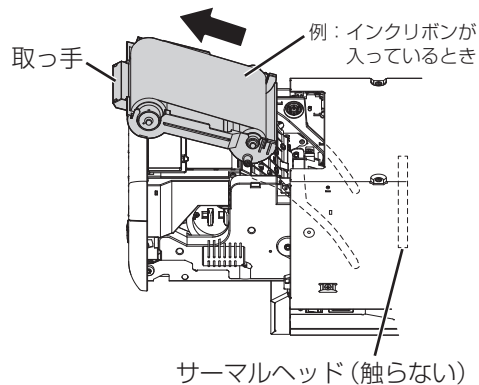
お知らせ

 サーマルヘッドは、静電気に弱いので気を付けてください。
 静電気が発生した状態でサーマルヘッドに触れると、故障する場合があります。

 <h2 style="margin: 0;">注意</h2>	 接触禁止	 高温注意	<p>プリント直後は、本機内部のサーマルヘッドには触れない サーマルヘッドは、サーマルヘッドのクリーニング時以外は触れない</p> <p>高温になっている場合があります。触れるとやけど・けがの原因になります。 (静電気による障害や機器故障などの原因になることもあります。)</p>
--	---	---	--

1 インクカセットを取り出す

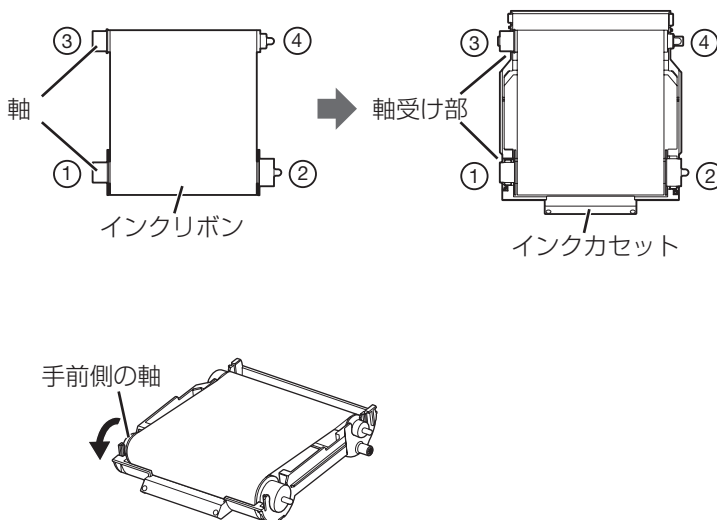
インクカセットの取っ手を持って取り出してください。



2 図のようにインクリボンをインクカセットに入れる

※インクリボンを交換する場合は、先に使用済みのインクリボンを取り出してください。

インクリボンとインクカセットの方向が正しいか確認してください。
 インクリボンの軸が、インクカセットの軸受け部に確実に入っていることを確認してください。
 インクリボンがたるんでいるときは、手前側の軸を回してたるみを取ってください。



安全

各部のなまえ

開梱

準備

使いかた

お手入れ

故障かな?

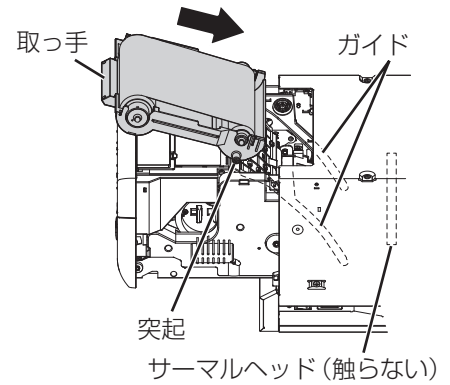
その他

もくじ

使用前の準備

③ インクリボンの入ったインクカセットを、図の位置に挿入する

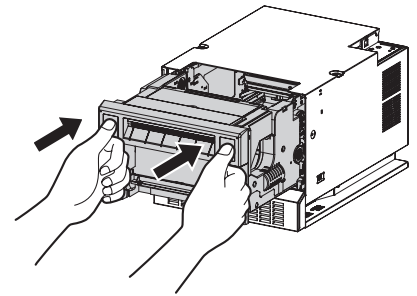
インクカセット両側の突起をスライドドア内側の左右のガイドに合わせ、斜めにすべりこませるように挿入してください。
インクカセットの取っ手を持って、奥まで挿入してください。



④ プリンティングユニットを押し込んで閉じる

プリンティングユニット正面の左右を両手で押し込んで閉じてください。

電源が入った状態で新しいプリント用紙を取り付けてプリンティングユニットを閉じると、自動的にプリント用紙がフィード&カットされます。



お願い

- プリンティングユニットを閉じたとき、「カチッ」とロック音がするまで押し込んでください。
- プリンティングユニットを閉じたときPAPER RIBBONインジケータが点灯した場合は、正しく装着されていない可能性があります。プリンティングユニットを開けて正しく装着されているか確認してから、再度プリンティングユニットを閉じてください。

お知らせ

- プリント用紙の装着を3回以上行くと、インクリボンより先にプリント用紙がなくなる場合があります。



注意



確実に
閉める



手はさみ
注意

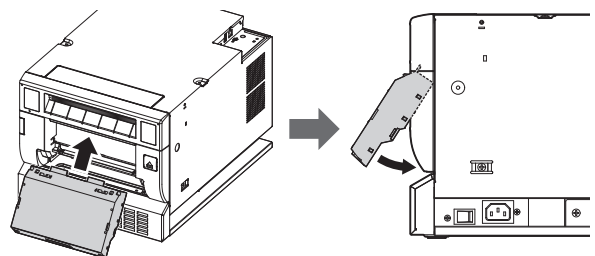
プリンティングユニットは、確実に押し込んで閉じる

プリンティングユニットが確実に閉まっていないと、本機を動かしたときにプリンティングユニットが開き、けがの原因になります。

プリンティングユニットを閉めるときは、手をはさまないようにしてください。

⑤ マージンカットボックスを取り付ける

マージンカットボックスの上部を本体取り付け部に差し込み、下部を押し込みます。



お願い

- プリント用紙とインクリボンの交換は必ず同時に行ってください。
- プリント出口につまるのを防ぐために、こまめにマージンカットボックスの切りくずを捨ててください。プリント用紙とインクリボンを交換するときは、必ずマージンカットボックスの切りくずを捨ててください。
- プリント用紙とインクリボンを交換するときは、サーマルヘッドとプラテンローラーのクリーニングも行ってください。クリーニングについては「[本機内部のクリーニング](#)」(P.25ページ)をご覧ください。

安全

各部のなまえ

開梱

準備

使いかた

お手入れ

故障かな?

その他

もくじ

ペーパートレー（付属品）を取り付ける / 取り外す

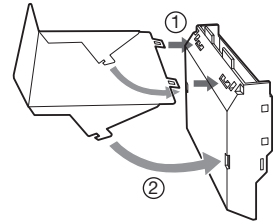
KG判 (102 mm × 152 mm) 以下のサイズのプリント用紙を使用する場合は、ペーパートレー（付属品）を取り付けてください。



お願い

- 2L判 (127 mm × 178 mm)、A5判 (152 mm × 203 mm)、A5ワイド判 (152 mm × 229 mm) のプリント用紙を使用するときは、ペーパートレーを取り外してください。

ペーパートレーの取り付けかた

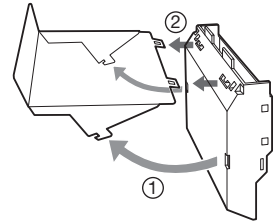
- 1 ペーパートレー上部のツメを、マージンカットボックス上部の突起部にかける (①)
- 2 ペーパートレー下部のツメを、マージンカットボックスの両側の穴にかけて固定する (②)



 注意	 禁止 プリンティングユニットやドアを上から押さえつけない バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因になります。
---	--

ペーパートレーの取り外しかた

- 1 ペーパートレー下部のツメを、マージンカットボックスの両側の穴から外す (①)
- 2 ペーパートレー上部のツメを、マージンカットボックス上部の突起部から外す (②)



安全
各部のなまえ
開梱
準備
使いかた
お手入れ
故障かな？
その他
もくじ

使用前の準備

プリンタードライバーをインストールする

本機とパーソナルコンピューターなどを接続する前に、接続する機器にプリンタードライバーをインストールします。

接続したパーソナルコンピューターのデータを本機でプリントするためには、プリンタードライバーが必要です。CD-ROM (付属品) には、Windows® が動作するコンピューター用のプリンタードライバーが入っています。

■ 動作環境

Windows® 7 (32ビットおよび64ビット)、Windows® 8 (32ビットおよび64ビット) 日本語版上で動作可能です。
• Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標または商標です。

■ プリンタードライバーのインストール方法

くわしくは、CD-ROM (付属品) に入っている「プリンタードライバーガイド」をご覧ください。

お知らせ

- プリンタードライバーの最新バージョンとプリンター情報を確認するには、次の Web サイトを参照してください。
<http://www.mitsubishielectric.co.jp/ldg/ja/products/visual/lineup/printer/photo/index.html>

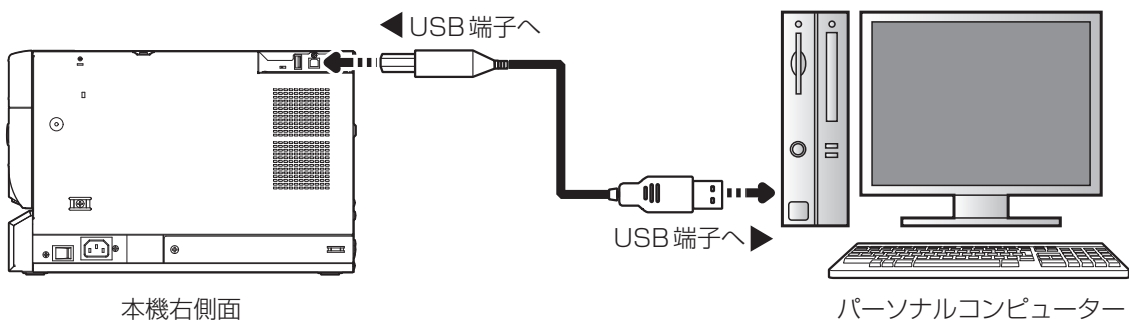
パーソナルコンピューターなどを USB 接続する

本機に接続して使用する機器の取扱説明書に記載されている「使用上のご注意」をよくお読みください。

パーソナルコンピューターとの接続

1 USB ケーブルで、本機とパーソナルコンピューターを接続する

本機とパーソナルコンピューターを以下のように接続します。



お知らせ

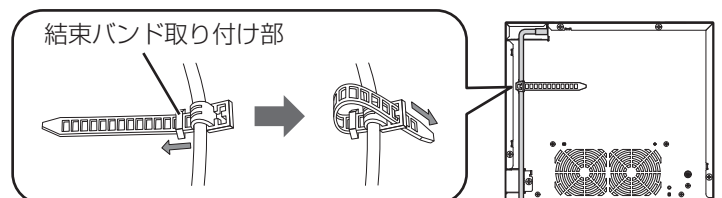
- 本機には USB ケーブルは同梱されていません。市販の 2m 以下の USB2.0 認証ケーブルをご使用ください。

USB ケーブルを本機に固定する

1 USB ケーブルに結束バンド (付属品) を巻き付ける



2 結束バンドを本機後面の結束バンド取り付け部に通し、固定する



安全

各部のなまえ

開梱

準備

使いかた

お手入れ

故障かな?

その他

もくじ

本機の取り扱いについて



「安全のために必ず守ること」の
「取り扱い」(☞4～7ページ)の内容も、
よくお読みください。

■ 取り扱い

- ・ 殺虫剤など揮発性のものをかけたり、ゴムやビニール製品を長時間接触させないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。
- ・ 本機の上に重いものを載せないでください。キャビネットを傷めたり、故障の原因になります。
- ・ プリンティングユニットやドアを開けたとき、上から押さえつけないでください。故障やプリント不良の原因になります。
- ・ ペーパートレイを取り付けている場合は、マージンカットボックスを取り外す前にペーパートレイを取り外してください。
- ・ 強い風が当たる場所で使用しないでください。プリント用紙が正常に排出されず、紙づまりの原因となることがあります。
- ・ 本機を積み重ねて使用しないでください。積み重ねて使用すると、振動が伝わり、プリント不良の原因となります。また、インクカセットの出し入れができません。

■ プリント中は

- ・ プリント用紙やインクリボンに付着したゴミやほこり、あるいは低・高温時における変形等のため、印画の中に微妙な色抜けや色ムラ、スジ、シワが発生することがあります。
- ・ 本機を動かしたり、前面カバーボックスを開けたりしないでください。プリント不良の原因になります。
- ・ プリント用紙を引っ張らないでください。プリント用紙排出時は、排出が完了するまでプリント用紙に触れないでください。プリント不良やエラーの原因になります。
- ・ 本機内部の温度によっては、プリント途中で一時停止することがあります。(POWERインジケータが緑色に点滅します。)この場合、しばらくすると自動的にプリントは再開されますので、そのままお待ちください。プリント用紙には触れないでください。
- ・ プリント終了後は、裁断されたプリント用紙をそのままにしておかず、1枚ずつ取り除いてください。そのままにしておくと、紙づまりの原因になります。

■ マージンカットボックス

- ・ プリント出口に切りくずがつまるのを防ぐために、こまめに切りくずを捨ててください。

■ ペーパートレイ

- ・ ペーパートレイは、裁断されたプリント用紙を一時的にためておくためのものです。プリント用紙がこぼれ落ちたり、プリントした順にたまらないことがあります。

■ 露付きが起こった場合は(本機の内部に水滴が付くことを露付きといいます)

- ・ 露付き状態で本機を使用すると、プリント用紙やインクリボンの表面に湿気や露が付き、印画品質の低下や紙づまりの原因となります。露付きが起こりそうなときは、電源を入れて2時間以上おいてからご使用ください。プリント用紙が装着されているときは、用紙を取り出してください。
- ・ 露付きは次のようなときに起こります。
 - ・ 部屋を急激に暖房したとき
 - ・ エアコンなどの冷風を直接当てたとき
 - ・ 本機を寒いところから暖かいところに移動させたとき
- ・ 露付きしたプリント用紙およびインクリボンは正常にプリントできない場合がありますので、新しい用紙とインクリボンに取り替えてください。

安全

各部のなまえ

開梱

準備

使いかた

お手入れ

故障かな?

その他

もくじ

■ 動作周囲温度 / 湿度範囲について

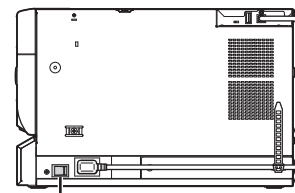
- 周囲温度は5℃～40℃、湿度は30%～80% RHでお使いください。
- 本機をシステムラックに組み込んだときは、ラック内の温度、湿度も上記の範囲でお使いください。
- 本機内部の温度によっては、プリント開始までに多少時間がかかることがあります。

電源の入/切

本機右側面のPOWERスイッチを押して、本機の電源を入/切します。

- 本機前面POWERインジケータがオレンジ点灯からグリーン点灯に変わったら、プリントできます。

電源を切るときは、プリント終了後に切ってください。プリント中に電源を切ると、プリントが中断し、紙づまりの原因になります。



POWERスイッチ



注意



プラグを
抜く

長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いておく
火災の原因になります。

安全

各部の
なまえ

開
梱

準
備

使
い
か
た

お
手
入
れ

故
障
か
な
?

そ
の
他

も
く
じ

切りくずを捨てるときは

お願い

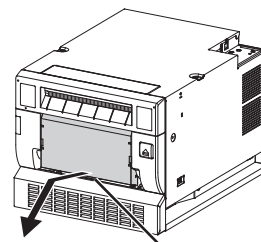
- プリント出口に切りくずがつまるのを防ぐために、こまめにマージンカットボックスの切りくずを捨ててください。
- プリント用紙とインクリボンを交換するときは、必ずマージンカットボックスの切りくずを捨ててください。

マージンカットボックス

1 ペーパートレーを取り付けている場合は、ペーパートレーを取り外す (☞ 19ページ)

2 マージンカットボックスを取り外す

マージンカットボックス底部の取っ手を手前に引き、下方向に外します。



取っ手

お願い

- 切りくずがたまるとマージンカットボックスが重くなるため、マージンカットボックスを取り外すときはマージンカットボックスを落とさないよう気を付けてください。

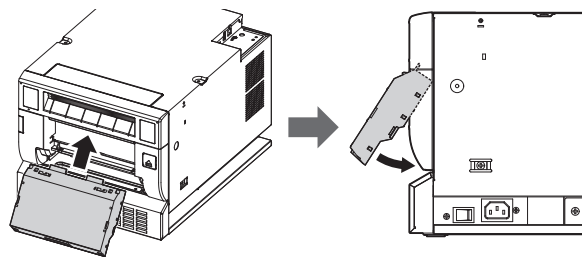
3 マージンカットボックス内の切りくずを捨てる

4 マージンカットボックスを取り付ける

マージンカットボックスの上部を本体取り付け部に差し込み、下部を押し込みます。

お願い

- マージンカットボックスが、正しく取り付けられていることを確認してください。紙づまりの原因になります。



5 ペーパートレーを取り付けていた場合は、ペーパートレーを取り付ける (☞ 19ページ)

安全

各部のなまえ

開梱

準備

使いかた

お手入れ

故障かな?

その他

もくじ

プリント用紙/インクリボンの取り扱いについて



「安全のために必ず守ること」の
「取り扱い」(☞ 4～7ページ)の内容も、
よくお読みください。

■ プリント前

- プリント用紙の表面に指紋やゴミ等が付いた場合、印画品質の低下や紙づまりの原因になる場合があります。
- 本機を低温の場所から高温の場所へ急に移動した場合、紙の表面に湿気または露が付き、印画品質の低下や紙づまりの原因になることがあります。このような場合には、本機をしばらく室内に放置してからご使用ください。
- プリント用紙の装着を繰り返したり、プリント用紙を途中で交換した場合は、所定の枚数分のプリントができなくなる場合があります。(プリント用紙をセットするたびに、本機の動作確認で用紙を約45cm排紙するため、使用できる用紙の長さが短くなります。)

■ プリント後

- 紙が有機溶剤(アルコール・エステル・ケトン類など)を吸収すると、画像が退色します。
- セロハンテープ、軟質塩ビなどに密着させると、化学反応で退色が早くなります。
- プリント後の紙は、なるべく直射日光など強い光の当たらない湿度の低い場所で保管してください。

■ 保管

- プリント用紙やインクリボンは軟質塩ビなどのフォルダーに保管しないでください。化学反応で脱色します。
- プリント用紙やインクリボンは直射日光や暖房器具のそばを避け、温度5℃～30℃、湿度20%～60%RHの冷暗所で保管してください。

プリント用紙/インクリボンを交換するときは

- 1 ペーパートレーを取り付けている場合は、ペーパートレーを取り外す (☞ 19ページ)
- 3 プリント用紙を交換する
(「プリント用紙(別売品)を入れる」(☞ 14ページ)を参照)
- 2 インクリボンを交換する
(「インクリボン(別売品)を入れる」(☞ 17ページ)を参照)
- 4 ペーパートレーを取り付けていた場合は、ペーパートレーを取り付ける (☞ 19ページ)

安全

各部のなまえ

開梱

準備

使いかた

お手入れ

故障かな？

その他

もくじ

お手入れ

本機のお手入れ



注意



プラグを
抜く

お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行う
感電の原因になります。

- 前面パネル部分の汚れは柔らかい布で拭いてください。
- 汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に浸した布をよく絞って汚れを拭き取り、乾いた布で仕上げてください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- ベンジン、シンナーなどの溶剤は、使わないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

本機内部のクリーニング

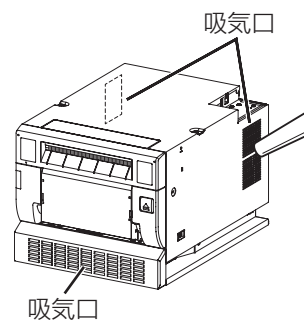
本機を長期間安定してお使いいただくために、以下の手順で本機内部をクリーニングしてください。
クリーニングするときは、けがを防ぐため手袋を着用することをおすすめします。

お願い

- クリーニングの前に本機右側面の POWER スイッチを押して、必ず電源を切ってください。

吸気口のクリーニング

- 1 掃除機で、前面と両側面の吸気口をクリーニングする



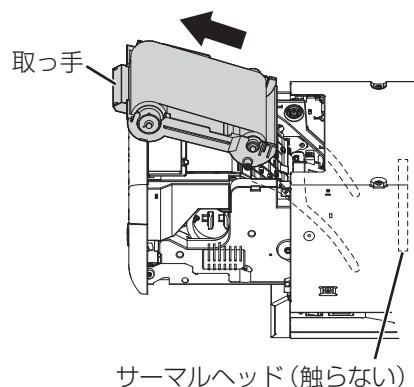
サーマルヘッドのクリーニング

プリント面にスジが入る場合、サーマルヘッドのクリーニングを行ってください。

準備するもの

- アルコール(エチルアルコールなど)
- 柔らかいきれいな布

- 1 ペーパートレーを取り付けている場合は、ペーパートレーを取り外す (☞ 19ページ)
- 2 マージンカットボックスを取り外し、OPEN ボタンを押し、プリンティングユニットを引き出す
(「プリント用紙を装着する」(☞ 15ページ)の手順2、3を参照)
- 3 インクカセットを取り外す



安全

各部のなまえ

開梱

準備

使いかた

お手入れ

故障かな?

その他

もくじ

お手入れ

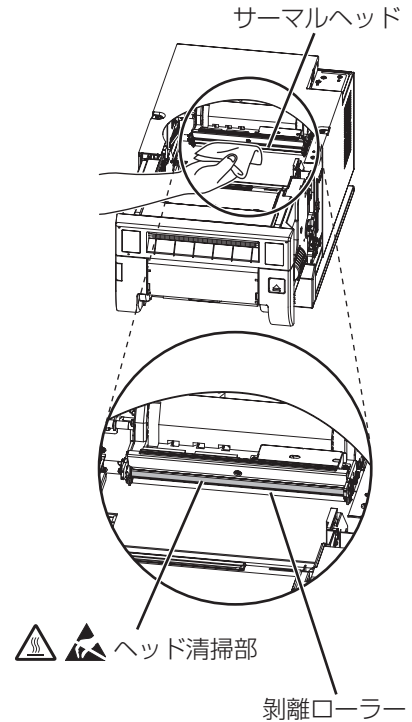
4 布を少量のアルコールで湿らせ、慎重にヘッド清掃部を拭く
(右図参照)

お願い

- サーマルヘッドをクリーニングするときは、サーマルヘッド下部にある剥離ローラーに強い力が加わらないようにしてください。剥離ローラーが変形し、画質劣化の原因になります。

5 アルコールが乾いたら、インクカセットを挿入し、プリンティングユニットを閉じ、マージンカットボックスを取り付ける
(「インクリボン(別売品)を入れる」(P.17ページ)の手順3~5を参照)


6 ペーパートレーを取り付けていた場合は、ペーパートレーを取り付ける (P.19ページ)



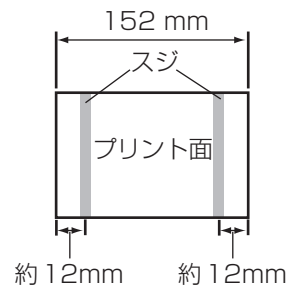
お願い

- サーマルヘッドに傷をつけないようにしてください。
- インクカセットの取り出し時や挿入時は、本機内部のサーマルヘッドに触れないでください。サーマルヘッドにゴミや指紋が付くと、プリント不良の原因になります。

お知らせ

 サーマルヘッドは、静電気に弱いので気を付けてください。
静電気が発生した状態でサーマルヘッドに触れると、故障する場合があります。

- サーマルヘッドは磨耗します。サーマルヘッドが磨耗すると、鮮明な画像がプリントできなくなることがあります。
- 127mm幅のプリント用紙(L判、2L判)をご使用後に152mm幅のプリント用紙(KG判、A5判、A5ワイド判)をご使用になった場合に、プリント面の2カ所(または1カ所)に図のようにスジがみられることがあります。その場合は、別売のクリーニングリボンCR-D70を使ってサーマルヘッドのクリーニングを行ってください。
- サーマルヘッドをクリーニングしてもプリント画質が改善されない場合は、サーマルヘッドの交換が必要です。くわしくは販売店にご相談ください。



注意



接触禁止



高温注意

プリント直後は、本機内部のサーマルヘッドには触れない
サーマルヘッドは、サーマルヘッドのクリーニング時以外は触れない

高温になっている場合があり、触れるとやけど・けがの原因になります。

(静電気による障害や機器故障などの原因になることもあります。)

安全

各部のなまえ

開梱

準備

使いかた

お手入れ

故障かな?

その他

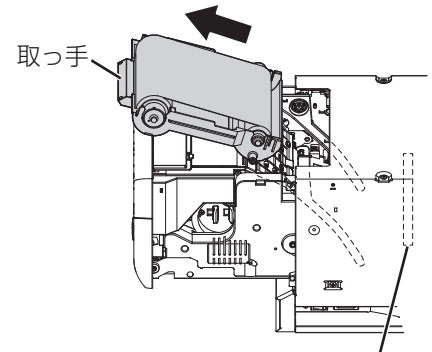
もくじ

プラテンローラーのクリーニング

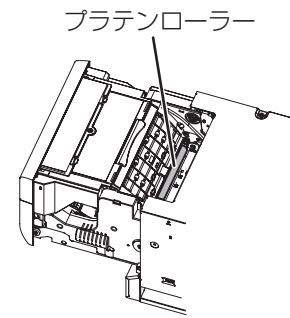
準備するもの

- アルコール（エチルアルコールなど）
- 柔らかいきれいな布

- 1 ペーパートレイを取り付けている場合は、ペーパートレイを取り外す（[19ページ](#)）
- 2 マージンカットボックスを取り外し、OPEN ボタンを押し、プリンティングユニットを引き出す（「[プリント用紙を装着する](#)」（[15ページ](#)）の手順2、3を参照）
- 3 インクカセットを取り外す
- 4 プラテンローラー表面の黒い部分を拭く
布にアルコールを少量しみこませて、軽くていねいに拭き取ってください。
ローラーを回転させながらローラー全体を拭いてください。
- 5 アルコールが乾いたら、インクカセットを挿入し、プリンティングユニットを閉じ、マージンカットボックスを取り付ける（「[インクリボン（別売品）を入れる](#)」（[17ページ](#)）の手順3～5を参照）
- 6 ペーパートレイを取り付けていた場合は、ペーパートレイを取り付ける（[19ページ](#)）



サーマルヘッド（触らない）



プラテンローラー

お願い

- インクカセットの取り出し時・挿入時や、プラテンローラーの清掃時は、本機内部のサーマルヘッドに触れないでください。サーマルヘッドにゴミや指紋が付くと、プリント不良の原因になります。

注意



接触禁止



高温注意

プリント直後は、本機内部のサーマルヘッドには触れない
サーマルヘッドは、サーマルヘッドのクリーニング時以外は触れない

高温になっている場合があります。触れるとやけど・けがの原因になります。

（静電気による障害や機器故障などの原因になることもあります。）

安全

各部のなまえ

開梱

準備

使いかた

お手入れ

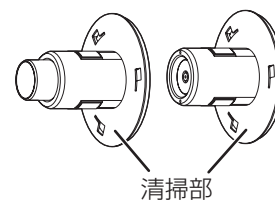
故障かな？

その他

もくじ

ペーパーフランジのクリーニング

- 1 プリント用紙に触れている部分(右図参照)を拭く
布にアルコールを少量しみこませて、軽くていねいに拭き取ってください。



消耗部品について

本機の消耗部品については、保証書をご覧ください。
消耗部品の交換については、お買い上げの販売店へご相談ください。

安全

各部のなまえ

開梱

準備

使いかた

お手入れ

故障かな？

その他

もくじ

故障かな？と思ったら

前面インジケータの表示と処置

本機がプリントできなくなったり、プリント中にエラーが生じた場合は、本機前面のインジケータが点灯または点滅し、エラーを知らせます。その場合は、下表を参考に処置を行ってください。

○：点灯 ●：消灯 ○●：点滅

ALARM インジケータ	PAPER RIBBON インジケータ	POWER インジケータ	原因	処置	参照 ページ
●	●	○ (グリーン)	本機がスタンバイ状態になっている。	—	8
●	●	○ (オレンジ)	本機がパワーセーブ状態になっている。 一定時間本機へのアクセスがないとき、省電力のため、スタンバイ状態からパワーセーブ状態に切り換わります。	—	8
			画像のデータを転送してからプリントできる状態になるまでに時間がかかることがあります。	—	—
○●	●	○ (グリーン)	プリンティングユニットが開いている。	プリンティングユニットを閉じてください。	8
○●	●	○● (グリーン)	マージンカットボックスが外れている。	マージンカットボックスをしっかりと取り付けてください。	8
○●	○●	○ (グリーン)	紙づまりまたはインクリボンのトラブルが発生した。	「紙づまりの処置」をご覧ください。	31
●	●	○● (グリーン)	本機が画像データを受信している。	しばらくお待ちください。インジケータの点滅が消えると自動的にプリントが再開されます。	8
			サーマルヘッドの温度が高くなった、または低くなった。	プリンターが動作中なので、ドアを開けたり電源を切ったりしないでください。	
●	○●	○ (グリーン)	本機で使用できないインクリボンが装着されている。	新しいインクリボンを装着してください。	17
			パーソナルコンピュータの設定と、装着されているプリント用紙／インクリボンの組み合わせが正しくない。	プリンティングユニットを開け、装着されているプリント用紙／インクリボンがパーソナルコンピュータで設定されている組み合わせと合っているかを確認してください。確認後、プリンティングユニットを閉じてください。	14 17
●	○	○ (グリーン)	プリント用紙またはインクリボンが装着されていない。 プリント用紙またはインクリボンが終了した。	新しいプリント用紙またはインクリボンを装着してください。	14 17
○	●	○ (グリーン)	その他のエラー	—	30

以上のことをお調べになって、それでも不具合があるときは使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてください。故障の状況とインジケータの表示状態を、お買上げの販売店にご連絡ください。

安全

各部のなまえ

開梱

準備

使いかた

お手入れ

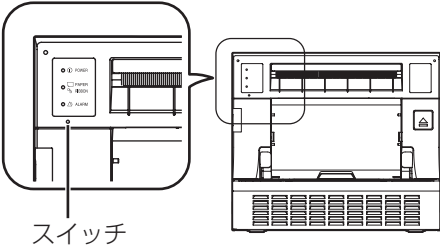
故障かな？

その他

もくじ

修理を依頼する前に

このようなときは、下表を参考にもう一度点検してください。

症 状	確 認	処 置
電源が入らない。	電源プラグがコンセントから抜けていませんか？	<ul style="list-style-type: none"> 電源プラグをコンセントに差し込んでください。 保護回路がはたらいている場合がありますので、電源を切って約2分間お待ちください。その後電源を入れてください。
プリンティングユニットが開かない。	本機の動作中に電源を切っていますか？	<ul style="list-style-type: none"> 本機の電源を入れてから、プリンティングユニットを開けてください。
プリントできない。	ALARM インジケータが点灯または点滅していませんか？	<ul style="list-style-type: none"> 「前面インジケータの表示と処置」(P.29 ページ)をご覧ください。
	適切なサイズの画像をデータ転送していますか？	<ul style="list-style-type: none"> 確認してください。
	インクリボンまたはプリント用紙が終了していませんか？	<ul style="list-style-type: none"> 確認してください
	プリンティングユニットは確実に押し込まれていますか？	<ul style="list-style-type: none"> 確認してください。
	—	<ul style="list-style-type: none"> 上記の操作を行ってもインジケータの点灯または点滅が解除できないときは、インクリボンとプリント用紙を取り出し、再度装着してください。
エラーが解除できない。	—	<ul style="list-style-type: none"> プリンティングユニットが確実に押し込まれた状態で一度電源を切ったあと、もう一度電源を入れてください。本機が初期化されます。 本機前面の穴の内部にあるスイッチを、細い棒などで5秒以上押ししてください。エラーが解除されます。 <div style="text-align: center;">  <p>スイッチ</p> </div>

以上のことをお調べになって、それでも不具合があるときは使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

安全

各部のなまえ

開梱

準備

使いかた

お手入れ

故障かな？

その他

もくじ

紙づまりの処置

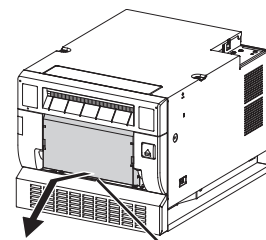
- 1 本機の電源がONになっていることを確認する
- 2 ペーパートレイを取り付けている場合は、ペーパートレイを取り外す (☞ 19ページ)
- 3 マージンカットボックスを取り外す

- 4 OPEN ボタンを押して、プリンティングユニットを引き出す

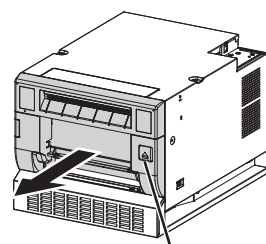
- 5 インクカセットを取り外す

- 6 ノブを引いてドアを開ける

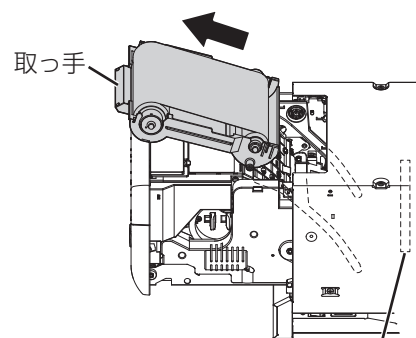
- 7 プリント用紙のしわになっている等の不良部分を、矢印の方向に引き出す



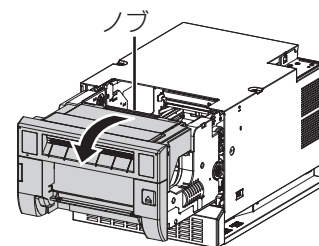
取っ手



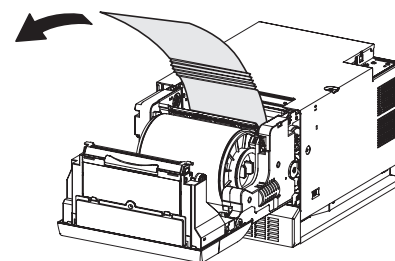
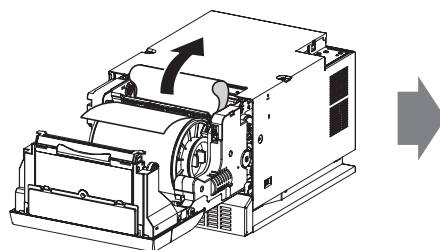
OPEN ボタン



サーマルヘッド (触らない)



ノブ



安全

各部のなまえ

開梱

準備

使いかた

お手入れ

故障かな?

その他

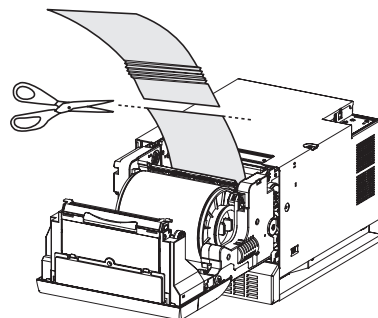
もくじ

故障かな？と思ったら

8 引き出した部分をはさみで切り取る

お願い

- プリントされた部分は必ず切り取ってください。すでにプリントされた部分にさらにプリントすると、プリント用紙にインクリボンが貼り付き、インクリボンが切れることがあります。
- サーマルヘッドとプラテンローラーのクリーニングを行ってください。クリーニングについては「[本機内部のクリーニング](#)」([P.25](#) ページ) をご覧ください。

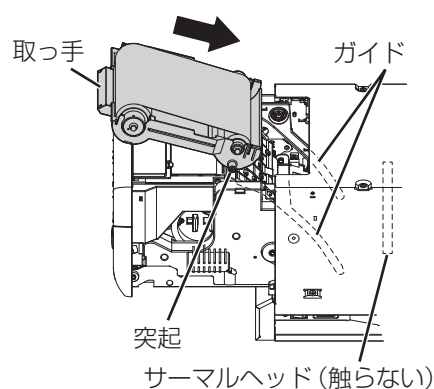


9 プリント用紙を一度取り出す

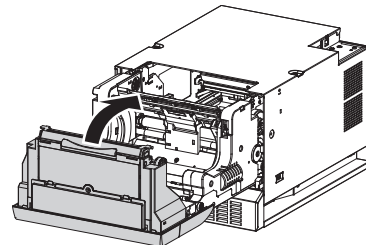
10 プリント用紙を再度装着する

(「[プリント用紙を装着する](#)」([P.15](#) ページ) の手順5、6を参照)

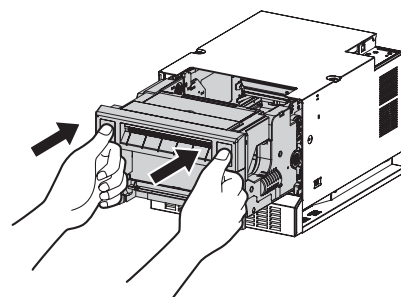
11 インクカセットを入れる



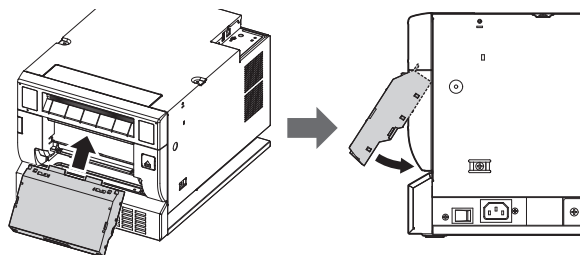
12 ドアを閉じる



13 プリンティングユニットを押しして閉じる



14 マージンカットボックスを取り付ける



15 ペーパートレーを取り付けていた場合は、ペーパートレーを取り付ける ([P.19](#) ページ)

安全

各部のなまえ

開梱

準備

使いかた

お手入れ

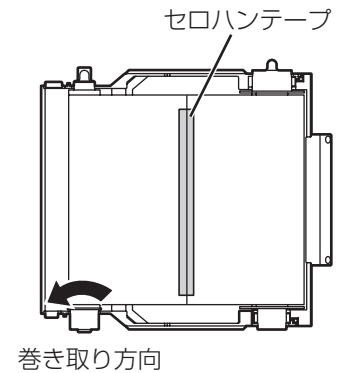
故障かな？

その他

もくじ

インクリボンが切れたときの処置

- 1 インクカセットをゴミやほこりのないきれいな場所に置く
- 2 透明なセロハンテープなどを使って、インクリボンの切れた両端を図のように中央1カ所につなぐ
- 3 セロハンテープを貼った部分が見えなくなるまで、インクリボンの軸を矢印方向に回す
- 4 インクカセットを本機に装着する



安全

各部のなまえ

開梱

準備

使いかた

お手入れ

故障かな？

その他

もくじ

保証とアフターサービス

■保証書(別添)

- 保証書は必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。保証書は内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。

デジタルカラープリンター本体の保証期間は、お買上げ日から1年間です。

消耗部品によっては保証期間が異なりますので、保証書をご覧ください。

- 保証期間内でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
- なお、デジタルカラープリンター本体の故障もしくは不具合より発生した、付随的損害(プリントされなかった内容の補償など)の責については、ご容赦ください。

■補修性能部品の保有期間

- 当社は、デジタルカラープリンターの補修性能部品を、製造打ち切り後最低8年間保有しています。補修性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ご不明な点や修理に関するご相談は

- お買上げの販売店にご相談ください。

■修理を依頼される時は(持込修理)

- 「故障かな?と思ったら」(☎29ページ)にしたがって、お調べください。

- なお、不具合があるときは、電源スイッチを切り、必ず電源プラグを抜いてから、お買上げの販売店にご連絡ください。

●保証期間中は

商品と保証書をご準備のうえ、お買上げの販売店に依頼してください。

●保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。消耗部品の交換も有料となります。

●修理料金は

修理料金は、技術料+部品代などで構成されています。

- 技術料…製品の点検や故障した製品を正常に修復するための料金です。
- 部品代…修理に使用した部品代金です。

■この製品は、日本国内用に設計されていますので、国外では使用できません。

また、アフターサービスもできません。

取扱い・修理のご相談は(デジタルカラープリンター)

取扱い・修理のご相談は、お買上げの販売店へ

■お問合せ窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

三菱電機株式会社は、お客様からご提供いただきました個人情報は、下記のとおり、お取り扱いします。

- 1.お問合わせ(ご依頼)いただいた修理・保守・工事および製品のお取り扱いに関連してお客様よりご提供いただいた個人情報は、本目的のみに製品品質・サービス品質の改善、製品情報のお知らせに利用します。
- 2.上記利用目的のために、お問合わせ(ご依頼)内容の記録を残すことがあります。
- 3.あらかじめお客様からご了解をいただいている場合および下記の場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を提供・開示することはありません。
 - ①上記利用目的のために、弊社グループ会社・協力会社などに業務委託する場合。
 - ②法令等の定める規定に基づく場合。
- 4.個人情報に関するご相談は、お問合わせをいただきました窓口にご連絡ください。

技術的なお問合せは

●三菱電機VCPテクニカルセンター

フリーダイヤル



0120-710-391(無料)

受付時間 / 9:30~12:00・13:30~17:00
(土・日・祝日・弊社休日を除く)

携帯電話・PHSの場合

TEL 075-353-0666 (有料)

FAX 075-353-0685 (有料)

E-mail pep-m@mbox.kyoto-inet.or.jp

●電話番号などについては変更になることがありますので、あらかじめご了承願います。

●電話番号をお確かめのうえ、お間違えのないようにおかけください。

S16A-VCP

■ INTERNET INFORMATION ■ この製品に関する詳細情報、使用応用例などを、wwwサーバーでもご提供しています。

<http://www.MitsubishiElectric.co.jp/vcp/>

安全

各部のなまえ

開梱

準備

使いかた

お手入れ





故障かな?

その他

もくじ

本機を移動・輸送するときは

本機を移動するとき



 注意	 接続したまま本機を移動しない 電源コードが傷ついて火災・感電の原因になります。 また、つまずいてけがの原因になります。 電源コードや接続ケーブルを外したことを確認してから、移動してください。
	 プリンティングユニットを開けたままにしない ぶつかって、けがの原因になります。
	 プリンティングユニットは、確実に押し込んで閉じる プリンティングユニットが確実に閉まっていないと、本機を動かしたときにプリンティングユニットが開き、けがの原因になります。 プリンティングユニットを閉めるときは、手をはさまないようにしてください。

本機を輸送するとき

引っ越しや修理などで本機を輸送する場合は、以下の項目を必ずお守りください。

1. 純正の梱包材を使用してください。
 - 梱包材は、1往復程度の使用は可能ですが、それ以上の使用は輸送条件によっては製品の保証ができなくなる場合があります。本機を再び輸送する場合は、梱包材を別途ご購入ください。
 - インクカセットおよびプリント用紙を取り出してから梱包してください。
 - ペーパートレイなど、取り外すことができる部品を取り外してください。
 - マージンカットボックス内のくずは必ず捨ててください。
2. プリンティングユニットを確実に閉じてください。

プリンティングユニットを閉じるとき、「カチッ」とロック音がするまで押し込んでください。
また、誤ってOPENボタンに触れないでください。

 注意	 プリンティングユニットは、確実に押し込んで閉じる プリンティングユニットが確実に閉まっていないと、本機を動かしたときにプリンティングユニットが開き、けがの原因になります。 プリンティングユニットを閉めるときは、手をはさまないようにしてください。
---	---

3. インクカセット、プリント用紙を本機から取り出すことができない場合は、三菱電機VCPテクニカルセンターに相談してください。

別売品

別売品については、お買上げの販売店でお求めください。

- ペーパー（プリント用紙）/インクリボンセット
- クリーニングリボン

※形名については、「クイックセットアップ」をご覧ください。

安全

各部のなまえ

開梱

準備

使いかた

お手入れ

故障かな？

その他

もくじ

仕様

種類	デジタルカラープリンター		
形名	CP-D90D		
プリント方式	昇華染料熱転写フルカラー方式 3色面順次印画 (イエロー、マゼンタ、シアン) + 表面保護コーティング 解像度 300 × 300 DPI (DPI : Dots Per Inch)		
転送画素数	L判	1076 × 1550 dots	
	KG判	1226 × 1852 dots	
	2L判	1550 × 2128 dots	
	A5判	1852 × 2428 dots	
	A5ワイド判	1852 × 2729 dots	
印画サイズ ※ ¹	L判	89 mm × 127 mm	(縁なし)
	KG判	102 mm × 152 mm	(縁なし)
	2L判	127 mm × 178 mm	(縁なし)
	A5判	152 mm × 203 mm	(縁なし)
	A5ワイド判	152 mm × 229 mm	(縁なし)
階調数	各色 256 階調		
給紙方法	自動給紙		
インターフェイス	Hi-Speed USB (Ver. 2.0)		
DC OUT 端子	12V 2.0A MAX 1 系統 (優先) 5V 2.0A MAX 1 系統		
電源	AC100V 50/60Hz		
消費電流	5.5 A		
使用環境条件	温度 5℃ ~ 40℃ 湿度 30% ~ 80% RH (結露なし)		
設置条件	動作姿勢水平 ± 5°		
外形寸法 ※ ¹	幅 275 mm × 奥行 365 mm × 高さ 237 mm		
質量	約 14 kg (付属品を除く)		
付属品	電源コード (1 本)、インクカセット (1 個)、CD-ROM (1 枚)、ペーパーフランチ (左右各 1 個)、 スペーサー (2 個)、クイックセットアップ (1 枚)、マージンカットボックス (1 個)、 ペーパートレイ (1 個)、結束バンド (2 本)、固定バンド (1 本)、ネジ (1 本)、木ネジ (1 本)、 ワッシャー (1 個)、保証書 ※ ²		

※¹ 印画サイズおよび外形寸法は、標準値を記載しています。

※² 保証書は外装箱に貼付されています。ご確認ください。

仕様および外観は改良のため変更することがあります。

■ CD-ROM (付属品) の内容

- 取扱説明書
- プリンタードライバー
- プリンタードライバーガイド

安全

各部のなまえ

開梱

準備

使いかた


お手入れ

故障かな？

その他

もくじ

便利メモ	お買上げ販売店名
	電話番号

愛情点検	●長年ご使用のデジタルカラープリンターの点検を!	(熱、湿気、ほこりなどの影響や、使用の度合いにより部品が劣化し、ときには安全性を損なって事故につながることもあります。)
	 こんな症状はありませんか	<ul style="list-style-type: none">●電源コード、プラグが異常に熱い。●コゲくさい臭いがする。●製品に触れるとビリビリと電気を感じる。●電源スイッチを入れても、表示が出ない。●その他の異常・故障がある。

ご使用中止	事故防止のため、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから外して、販売店に点検・修理をご相談ください。
--------------	---

三菱電機株式会社

京都製作所 〒617-8550 京都府長岡京市馬場岡所1番地

J919C194C20